

平成25年度女性経営者発展支援事業

異業種交流会を開催しました！

平成25年12月3日（火）ピュアリティまきびにて、女性経営者を対象に“畜産業界と観光業界との連携による今後の展開について”というテーマで異業種交流会を開催しました。



まずはじめに、蒜山酪農農業協同組合の石倉部長を講師にお招きし、農業農村の新たな魅力を生み出し、交流を通じて蒜山地域の更なる活性化を図っている現在の取り組み状況をお話しいただき、「観光関係等の異業種と交流することにより、食育活動・地域活性化・酪農振興等、全てを行うことができる」と話されました。

続いて、現在、牧場体験を実施している4団体から、現在の取組状況等を各5分間ずつ発表していただきました。

<安富牧場>

岡山市内の酪農家

酪農教育ファーム認証牧場で、搾乳体験・バター作りを実施。

牛舎近くに安富牧場ファミーユを開店し、ジェラートなどの6次化商品を販売。

<福光牧場>

岡山市内の酪農家

チーズ作り・ピザ作りを実施。

牛舎近くに福谷チーズ工房を開店。

最近では、近くの農業高校とタイアップし、テンペチーズを開発。

昨年度の交流会において、体験と宿泊先の連携を提案。



<宮木牧場>

岡山県中心部に位置する酪農家
餌やり・バター作り・農作業体験を
実施。

牧場体験のみならず、堆肥を入れた
畑で収穫された野菜でキムチ作りも
行っている。

<(株)のだ初>

岡山県南部に位置する養鶏農場。

実際に鶏舎に入って、採卵などを体験。

鳥インフルエンザ等の病気の心配もあるので、衛生対策についても説明。

次に、6次化商品の展示及び個別プレゼンテーションを行いました。
パンフレットやのぼりで飾られたブースに商品が展示され、商品作りに取り組んだき
っかけや販売先などについて、それぞれ個別に説明が行われました。



商品キャラクターも登場

意見交換会では、観光関係者からは、「ツアーなどに組み込んでみたい」「直売所や
道の駅について知っているつもりだったが、これだけ6次化商品があるとは知らなか
った」などの意見の他、「情報が不足している。生産者さんももう少し情報開示をし

てみては・・・。」「県民性もあると思うが、控えめすぎる。個別にお話をしてみると、ユニークな考えをお持ちの方もいっぱいいるのだから、もっとどんどん前に出て行くべき。」との忠告もいただきました。

また、生産者サイドからは、体験を実施している農家に対し、衛生面で気をつけていることや6次化商品の認証に関する質問なども出されました。

最後に、おかやまフォーベルネット（岡山県内に従事している畜産女性の会）副代表の孝本智子氏より、「同じ畜産女性の方々が様々な取組を行っているのを聞き、刺激になったし、いろいろな方とお会いすることができて交流の輪が広がったと思う。」と閉会の挨拶をされました。

交流会終了後、生産者からは、「今日の講演や実施者の話を聞いてみて、（観光客にとって）我々の普段の仕事がそれほど珍しいこととは思っていなかった。生産者の意識を変えていけば、ビジネスとしても成り立つのでは。」との声も聞かれ、衛生対策等の様々な課題も残されていますが、今後の展開に期待の持てる内容となりました。